

耳鼻咽喉科が扱う耳、鼻、のどは、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚といった感覚器を有するほか、音声、嚥下といった人が快適な生活を過ごすために重要な役割を持つ器官です。耳や鼻の病気によって聴覚や嗅覚が失われている場合、例えば慢性中耳炎や慢性副鼻腔炎などのように適切な治療や手術によって改善可能な場合がありますし、真珠腫性中耳炎、副鼻腔真菌症など放置しておく急速に進行し、思わぬ合併症を引き起こす病気もあります。今年度から鼻副鼻腔疾患については専門外来を立ち上げ、鼻内内視鏡手術を積極的に取り入れた治療を行っています。また、中耳炎や声帯疾患に対する手術を含め、この数年で手術件数は大幅に増加しています。最近では嚥声など音声障害に対する手術も試みており、良好な結果を得ています。耳鼻科手術は病気によって生じた機能障害の回復、生活の質改善が一つのキーワードですので、今後ますます増加していくことが予想されます。

さてこれからのシーズンは花粉症対策が鼻の機能を維持するために大切となってきます。医療センターは静岡県西部地区の花粉調査の拠点となっていて、2月から4月まで花粉飛散数を測定しています。昨年度はこれまでにない少ない飛散でしたので、ほとんどの人が軽症ですんだと思いますが、その分今年は大量飛散となり、多くの方が例年よりも強い症状になるだろうと予測されています。まずは予防が大切で花粉が鼻やのど、眼の中に入らないように外出時はマスク、眼鏡を使用して、衣類に付着した花粉は部屋に入る前に払い落とすなどの配慮が必要です。初期治療として症状の発前から花粉症の治療薬を使用すれば、シーズンを通じて症状を軽くすることも可能です。特に学生さんや働き盛りの方はなかなか病院を受診することができず、我慢するか市販薬で対応してしまう人も多いと思いますが、症状のコントロールができないと集中力を欠いたり、寝付きが悪くなって睡眠障害をきたしたりと思わぬ不利益を被ることになりますので、適切な治療を行うことが重要です。耳鼻咽喉科では鼻内所見を観察し、客観的に重症度を判断して、より適切な治療方針を提示するようにしています。花粉症そのものは時期が過ぎれば自然に症状も改善してしまうため安易に考えがちですが、不適切な対応によって鼻の粘膜に不可逆的な変化をきたしてしまうこともありますので、専門医での診察をおすすめします。



(文責：耳鼻咽喉科長職務代理 荒井 真木)

〒432-8580 浜松市中区富塚町3-2-8

TEL 053 (453) 7111

: FAX 053 (452) 9217

URL <http://www.hmedc.or.jp>

: E-Mail koho@hmedc.or.jp

発行：県西部浜松医療センター

ふれあい



当院職員が撮影した佐鳴湖から見える富士山です。左側には医療センターが見えています。

「ふれあい」では今年も当院の情報を皆さんに発信していきます。今年もよろしくお願いいたします。

目次

- ◆市民公開講座：よくわかる！肝臓のお知らせ
- ◆病院ボランティア募集「一緒に活動しませんか？」
- ◆救急外来工事、浴室工事のお知らせ
- ◆診療科紹介：耳鼻咽喉科

～ ご自由にお持ちください ～

看護師募集中

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

県西部浜松医療センター

検索

第12回市民公開講座のお知らせ

第12回 県西部浜松医療センター 市民公開講座

よくわかる！ 肝臓

日時 1月29日
平成23年 14:00～16:30 (開場13:15)
場所 浜松市中区編組町111-1
アクトシティ浜松
コンgresセンター31会議室

講演1：影山富士人 内視鏡科長
「肝機能異常といわれたら」

講演2：小林良正 浜松医科大学第二内科助教
「放っておけない
ウイルス肝炎のお話」

講演3：本城裕美子 消化器科医長
「ここまで進んだ肝がん治療」

講演4：岡本康子 管理栄養士
「肝臓をいたわる食べ方のコツ」
—身近な食べ物に含まれる謎に迫る—

救急外来工事、浴室工事のお知らせ

病院の機能充実、環境整備を目的に現在救急外来室の診察室増設工事と2号館病棟の浴室改修工事を行っているところです。

救急外来室の工事は、救急体制の機能充実として、救急外来混雑時に柔軟な対応を行えるように、現在の救急外来室の廊下を挟んだ向かい側に診察室を新たに4室つくるものです。電子カルテシステム、高精細モニター、ストレッチャーベッドを設置して、こちらは12月1日から運用を開始しております。

2号館の浴室改修工事につきましては、昨年度の1号館浴室改修工事に引き続いた環境整備を目的にした工事です。6階の洗面洗濯室入口は、車椅子を使われている患者さんの出入りを考慮して間口を広げました。7、8階はシャワー室を増設し、浴室と分離したことによって同時に2名の利用が可能となります。また、ベッドのままシャワー入浴ができるシャワートローリー等のスムーズな運用ができるような改修も行います。これらの工事は今年度中にすべてを完了いたします。

(文責：経営企画課長 榊原 智宏)

病院ボランティア募集「一緒に活動しませんか？」



病院ボランティア「しらゆり」の活動は、昭和52年から34年間の歴史があります。

当時から、赤と白のストライプのエプロンがトレードマークです。これは、ボランティア活動への情熱を表す『赤』、しらゆりのような優しく清らかなところを表す『白』を表現しています。優しい笑顔とおもいやりの心配りがモットーです。

現在会員数は74名（男性5名、女性69名）。月曜日から金曜日の午前中に病院内で活動しています。活動内容は、病院玄関や新患受付での案内、入院患者さんのリハビリテーション室への送迎、病棟巡回する移動図書館、入院患者さんと歌やゲームで過ごす「ふれあいタイム」などがあります。いつでも丁寧に接する姿は職員のお手本にもなっています。

これらの活動は社会的にも認められ、SBS善行賞（平成2年）、静岡県知事表彰（平成12年）、緑綬褒章（平成19年）、中日ボランティア賞（平成20年）など数々の賞をいただきました。

一緒に活動してくださる方、大歓迎です。難しい活動ではありません。興味のある方は、院内の総合案内やボランティア会員にお気軽にお尋ねください。

お電話でのお問い合わせは[看護部長室：053-451-2735]までお願いします。

(文責：看護副部長 河井 友子)



平成23年4月から当院は名称を県西部浜松医療センターから浜松医療センターに変更する予定です。